

大阪府立国際児童文学館ってどんなところ？

わが国初めての世界にひらかれた子ども本の資料・情報・研究センターです

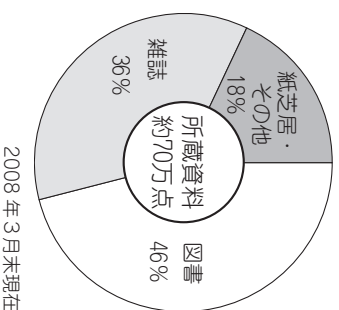
日本一を誇る子ども本の資料センター



- ◆ 明治時代から現代に至るまでの、わが国で出版された子ども本とそれに関する資料を収集・整理・保存・公開
- ◆ 所蔵資料の約7割は、上記趣旨にご賛同いただいた出版社や個人からの寄贈による

貴重な資料から

- ◆ 『日本一ノ画噺』（中西屋書店 明治44年～大正4年）
- ◆ 『こがね丸』（漣山人／著 明治24年）
- ◆ 『ハッ山羊』（グリム／著 呉文聡／訳 西洋昔噺1 明治20年）
- ◆ 明治大正期の少年雑誌類
「少年園」「小国民」「日本之少年」「少女」「幼年雑誌」「赤い鳥」ほか
- ◆ 月刊絵雑誌
「こども」(明治37年創刊)
「幼年の友」(明治38年創刊)
「コドモノクニ」(大正11年創刊) ほか



- ◆ 1984年5月5日開館
- ◆ 鳥越信氏（児童文学研究者）から寄贈された12万点の資料をもとに大阪府が設立
- ◆ 財団法人大阪国際児童文学館に運営を委託

研究を基盤にした子どもの読書活動支援センター

おもな事業

- ◆ 講座・講演会・シンポジウム
「講座：新刊児童書の解説」「シンポジウム：アジアと日本の絵本」など
- ◆ 出版
『日本児童文学大事典』（当館編、全3巻、大日本図書刊）
『世界の絵本の現在・報告集』の絵本』など
- ◆ 研究
「0・1・2歳児を対象にした絵本その意義と活用」
→リーフレット「親子が楽しむはじめの絵本」の制作・配布
「子ども向き図書検索ナビゲーションシステム」の開発研究
→「本の海大冒険」
「ほんナビぎっず」など
- ◆ 情報発信
「子どもの本いま・むかし」
「日本の子どもの本100選」
- ◆ 国際ケリム賞
児童文学研究の進展に寄与された世界の研究者を顕彰する賞
（大阪府立大手前高等学校同窓会金蘭会、財団法人金蘭会と共催）
- ◆ 子ども向け団体利用プログラム、ワークショップ
保育所・幼稚園、小学校、中学校などを対象に特別プログラムを実施
- ◆ ニッサン童話と絵本のグランプリ
1984年開館を記念して創設された児童文学作品のコンクール
（日産自動車株式会社の協賛）

大阪府立国際児童文学館 〒565-0826 吹田市千里万博公園10-6
TEL 06(6876)8800 FAX 06(6876)8686
レファレンス専用 06(6876)7479
HP: <http://www.iiclo.or.jp/> E-mail info@iiclo.or.jp